

平成 29 年度事業計画書・収支予算書の件

I 平成 28 年度事業の総括

平成 28 年度は、財団設立 30 周年の節目となった一年であり、財団らしい「人づくり」「地域づくり」が予定どおり遂行できた。

- ・象徴的イベントとして、30 周年記念フォーラムを開催し、30 周年記念誌『and F』を発刊した。
- ・30 周年記念事業として、岡山大学吉寄付講座を助成した（2 年目）
- ・特定教育助成「学力向上プロジェクト」の中心であった「東京大学市川伸一教授による学力・人間力推進事業（教えて考えさせる授業）」については、今年度で終了した。
- ・海外教育調査研究・研修事業（オーストラリアプレ体験留学）は、先進的な教育制度や留学生支援体制を体感させ、グローバルマインドの醸成等当初の目的を果たし、今年度で終了した。
- ・時代の変化に先駆けて対応する「岡山県英語力向上支援策」を検討した。
- ・収入の中心となるベネッセ株式配当金が、将来変動しても対応できる仕組みづくりを行った。

平成 28 年度の主な事業実績

公益目的事業 I 教育文化活動支援事業

1 表彰事業

- (1) 福武哲彦教育賞及び谷口澄夫教育奨励賞
教育賞 1 件（学校法人おかやま希望学園）
奨励賞 3 件（岡山県 NIE 推進協議会、岡山市立石井小学校、NPO 法人だっぴ）
- (2) 福武文化賞及び福武文化奨励賞
文化賞 1 件（太田三郎/美術家）
奨励賞 4 件（片山康之/美術家、岸本和明/奈義町現代美術館長、平井優子/ダンサー・振付演出家、NPO 法人倉敷町家トラスト）
贈賞式は J-Hall で開催し、受賞者全員の発表をした。

2 助成事業

- (1) 「教育活動助成」は 115 件の応募があり、55 件に助成した。上記教育賞等贈賞式と併せて、助成の贈呈式・発表会を行い、約 170 名が参加した。
- (2) 「学力・人間力育成推進事業」は、「学力向上プロジェクト事業」として、各対象地区校での発表会を行い、また、各校が集まる交流連絡会を 2 回開催し成果を発表した。「教えて考えさせる授業」セミナーも 1 回開催し、各約 80 名が参加した。
対象：学力・人間力育成推進会議（委託）
（継続 2 件：倉敷市大高小学校区、倉敷市琴浦東小学校区 新規指定地区無し）
- (3) 「文化活動助成」は 145 件の応募があり、70 件（3 年継続 6 件含む。）に助成した。贈呈式・発表会・交流会には約 300 人が参加した。
- (4) 「特定教育助成」「特定文化助成」は、事業計画において決定された団体に対し助成した。
対象：おかやま希望学園、岡山県私学協会、「がんばる若者支援」、「学力向上プロジェクト事業」6 件（旧学力・人間力育成推進地区 2 件、学力向上プロジェクト事業 4 件）
岡山県文化連盟、先進的芸術家育成作品展（天神山文化プラザ）、岡山の美術活性化事業 3 件（県立美術館）、出石・国吉プロジェクト

- (5) 「瀬戸内文化育成助成」は、宇野港周辺の活性化に寄与する「たまの☆おもてなし推進委員会」等の事業に対して助成した。

【助成事業一覧】

(助成金 単位：万円)

事業内容	助成件数	助成金額
教育活動助成 (応募 115 件)	55	1,200
文化活動助成 (応募 145 件)	68	1,575
特定教育助成	11	1,039
特定文化助成	7	850
瀬戸内文化育成助成	6	320
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	25	543
合計	172 地区・件	5,527 万円

3 研修会等開催事業

(1) 小学校特定英語研修

小学校英語教科化にむけて、市町村教育委員会傘下の教育研究団体等が実施する小学生および小学校教員を対象とした、英会話レッスンを中心とした研修（イングリッシュキャンプ、小学校教員英会話研修、小学生オールイングリッシュ研修）に対して、必要な経費の 1/2 を助成した。

対象：総社市、新見市、笠岡市、備前市

(2) 研修会・講演会開催

30 周年記念フォーラム「ここに生きる、ここで創る」Vo1.6 ～地域にこそ在る最先端～を、1 月 14 日に J-Hall で開催した。（参加人数 約 200 人）

パネリスト：近藤誠一（元文化庁長官）×平田オリザ（劇作家/演出家）×中島諒人（演出家/鳥の劇場芸術監督）

4 調査研究事業

岡山県の子供たちの教育課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究事業を行った。

また、教育賞・文化賞選考委員へのヒアリングや津山・岡山地区で行われた官民合同補助金説明会に参加し、助成先候補の団体と有益なコミュニケーションの機会をもつことができた。

5 「海の劇場」事業

「学校でひらく舞台芸術教室」（5～7 月）を開催した。NPO 法人アートファームに委託。

岡山市内の小串小学校（ダンス）、朝日小学校（演劇）にてワークショップを行い 7 月 5 日に合同発表会を朝日小学校で実施した。

6 広報事業

財団機関誌「FUEKI」を全面リニューアルした。ハンディサイズで読みやすくしたが、情報量は維持できるよう増ページし、配布先も拡大した。

財団ホームページでは、全面改定 2 年目として、鮮度の高い情報提供につとめ月 2 回更新を行った。更に財団公式 facebook をリンクさせ、日常の財団活動や各種イベントの発信につとめた。

また、瀬戸内国際芸術祭 2016 への参加促進するための広報活動を強化した。

公益目的事業Ⅱ 国際的人材育成事業

1 海外教育調査研究・研修事業

高校生と教師をオーストラリアの TAFE 及び GCA に派遣し、現地の教育を体感させる機会を提供した。また、ベネッセと共催でプレ留学報告会・留学相談会を開催した。(今年度で終了)

期間： 7月31日～8月6日

内容： 留学生向け英語授業体験、TAFE・大学・GCA 等の見学・調査
体験留学前後のオンライン語学研修、GTEC 受験

参加： 岡山県内の高校等教師(3名)、高校生(13名)等 全22名

2 日中青年交流研修事業

岡山県日中教育交流協議会の STUDENT EXCHANGE 事業で岡山県の高校生 12 名が市を上海市訪問、上海市より 12 名の高校生が岡山を訪れ、学校授業や行事、ホームステイ等を通じて相互理解を深めた。

また、岡山県日中懇話会の中国高校生受入事業により、江西省の高校生 21 名が岡山県を訪れ、ホームステイ、金光学園との交流活動を行った。

3 研修会等開催事業

子ども達に対して、海外に視野を広げ国際的な人材育成をするため、自治体や教育委員会へ働きかけ、外国語体験研修等の実施を検討した。

財団運営

1 理事会・評議員会

- 平成 28 年 5 月 23 日 書面決議による第 1 回理事会
 - 提案① 平成 27 年度事業報告及び決算の承認の件
 - 提案② 平成 28 年度定時評議員会開催の件
- 平成 28 年 6 月 18 日
 - (1) 第 2 回理事会
 - 議案① 評議員候補者の提案の件
 - 議案② 理事及び監事の候補者の提案の件
 - 議案③ 株主としての権利行使承認の件
 - 報告① 平成 27 年度助成事業の報告の件
 - 報告② 代表理事等職務執行状況報告の件
 - (2) 定時評議員会
 - 議案① 平成 27 年度事業報告及び決算の件
 - 議案② 評議員候補者の選任の件
 - 議案③ 理事及び監事の選任の件
 - 報告① 平成 27 年度助成事業の報告の件
 - (3) 第 3 回理事会
 - 議案① 理事長、副理事長及び常任理事の選定の件

○ 平成 28 年 12 月 22 日 書面決議による第 4 回理事会

- 提案① 平成 29 年度表彰事業選考委員会委員の選任の件
- 提案② 平成 29 年度助成事業等審査委員会委員の選任の件
- 提案③ 評議員会開催の件

○ 平成 29 年 3 月 4 日

(1) 第 5 回理事会

- 議案① 資産管理規程の変更の件
- 議案② 特定資産取扱規則の改正の件
- 議案③ 特定費用準備資金の保有について「公募助成資金引当預金」
- 議案④ 特定費用準備資金の保有について「周年事業資金引当預金」
- 議案⑤ 特定費用準備資金の保有について「瀬戸内文化振興事業引当預金」
- 議案⑥ 平成 28 年度収支予算書の補正の件
- 議案⑦ 平成 29 年度事業計画書・収支予算書の件
- 議案⑧ 就業規則及び育児・介護休業等に関する規則の一部改正の件
- 報告① 福武純子理事長のご逝去について
- 報告② 代表理事等職務執行状況報告
- 報告③ 資金運用状況報告

(2) 第 2 回評議員会

- 議案① 資産管理規程の変更の件
- 議案② 平成 28 年度収支予算書の補正の件
- 議案③ 平成 29 年度事業計画書・収支予算書の件

Ⅱ 平成 29 年度事業の基本方針

昨年度まで設立 30 年間の助成累計金額は、14 億 5 千万円超（教育：841 百万円、文化：606 百万円）となる。改めて 30 年間の重みを再認識し、次代にむけて、より一層地域になくはならぬ公益財団法人としての在り方を追求していきたい。

具体的には、以下の方針で 29 年度を迎える。

- (1) 教育、文化の振興を通じて、「地域づくり」「人づくり」を応援し、時代環境、行政事情、地域の現状等に対応したあるべき助成団体を目指す。
 - ・ 助成先へのフォローアップにつながる取り組みを行う。
 - ・ 様々な関係先（行政、中間支援組織、他団体等）の情報交換、連携をより一層図る。
 - ・ 理事・監事・評議員、選考委員、審査委員等の人脈、ネットワーク等の有効活用を図る。
 - ・ 新たな助成申請が生まれるよう様々な取り組みを行う。
- (2) 先駆的な取り組みに対して積極的に支援する。
 - ・ 今年度は「岡山県英語力向上事業」を支援する。
- (3) 事業全体を通じた、教育・文化の融合を模索する。
 - ・ 教育賞、文化賞の推薦時期を 5 月～6 月と同一にし、式典も同時開催する。
 - ・ 助成贈呈式を教育、文化とも同時開催し、一層の交流を図る。
- (4) 公益財団法人としてふさわしい組織・財務体制の構築をさらに進める。

Ⅲ 平成 29 年度の事業計画

（単位：千円）

公益目的事業Ⅰ 教育文化活動支援事業 （定款第 4 条 1 項第 1 号）
予算総額 147,651 （前年度当初 123,150：共通経費を含む。）

1 表彰事業 予算総額 7,000 （前年度当初 7,400）

… 推薦数の増加を図りながら対象者を厳選。教育・文化賞の贈賞式典を一本化し、経費節減をしながら同時に発信力強化につとめる

(1) 福武哲彦教育賞及び谷口澄夫教育奨励賞

《目的》 岡山県の教育研究、実践に顕著な業績を上げている個人・団体及び今後が期待される個人・団体を顕彰する。特に教育を通じた地域振興への貢献を重視する。

- 《対 象》 岡山県下の幼・保、小・中・高校、特別支援学校、専門学校の教職員・団体及びこれに準ずる団体、地域の団体
- 《推 薦》 岡山県教育委員会、市町村教育委員会等教育関係団体、報道機関等からの推薦
- 《 賞 》 表彰状、賞牌及び副賞（本賞 60 万円、奨励賞 30 万円）
教育賞は 1 件程度、奨励賞は 3 件程度
- 《選 考》 選考委員会で選考し、理事現在数の 2 分の 1 以上の同意を得て理事長が決定
- 《予 定》 5～6 月 推薦受付、8 月 選考委員会、11 月 贈賞式（文化賞と同時開催）

(2) 福武文化賞及び福武文化奨励賞

- 《目 的》 岡山県の文化の向上に大きく貢献した個人・団体及び今後が期待される個人・団体を顕彰する。奨励賞では若者の文化活動を通じた地域振興への貢献を重視する。また、贈賞式を見直し簡素化する。
- 《対 象》 岡山県在住又はかかわりがあり、岡山県を始め全国、世界で文化的活動をしている個人・団体
- 《推 薦》 岡山県、県教育委員会、市町村及び各教育委員会、報道機関等からの推薦
- 《 賞 》 表彰状、賞牌及び副賞（本賞 60 万円、奨励賞 30 万円）
文化賞は 1 件程度、奨励賞は 4 件程度
- 《選 考》 選考委員会で選考し、理事現在数の 2 分の 1 以上の同意を得て理事長が決定
- 《予 定》 5～6 月 推薦受付、8 月 選考委員会、11 月 贈賞式（教育賞と同時開催）

2 助成事業 予算総額 70,115 （前年度当初 68,400）

- … 公募助成は、教育、文化の贈呈式を同時開催し、効果的な発表と一層の交流が効果的に行われるようにする。特定教育助成として「岡山県英語力向上事業支援」を新設する。

(1) 教育活動助成 （助成費予算額 14,700）

- 《目 的》 教育による人づくり・地域づくりを応援し、地域が活性化することを期待し、教育に関する有意義な実践活動等を助成し、学校教育及び地域の教育振興に貢献する。
- 子どもたちの「豊かな人間性」を育む活動
家庭や地域などで行う子どもたちの健やかな育ちと社会への参画意識を応援する活動
（住民ボランティアの土曜日寺子屋、パパ・ママの子育てサポート、地域の歴史文化掘起し隊等）
- 子どもたちの「確かな学力」を学校や地域で育む活動
学ぶ意欲、知識・理解や技能、思考力・判断力・表現力、問題解決野力等を育てる活動
（絵画鑑賞を通じた豊かな表現力の育成、アクティブ・ラーニングの視点を生かした指導法等）
- グローバルな意識や勤労観・職業観を育む活動
将来の夢や職業を思い描き、広く地域社会で活躍できる子どもを育てる活動
（Web を利用した外国校との英語交流授業、留学生との交流イングリッシュキャンプ、大学生ボランティアによる中高でのワークショップによるキャリア教育等）
- 《対 象》 岡山県内の地域団体又は個人、教職員グループ 等
- 《助成額》 原則 1 件当たりの上限は 30 万円
- 《期 間》 平成 29 年度中に実施する事業。
- 《審 査》 審査委員会で審査し、理事現在数の 2 分の 1 以上の同意を得て決定
- 《予 定》 12～1 月 申請受付、3 月 審査委員会、4 月 事業開始
9 月 贈呈式・発表会・交流会（文化助成贈呈式と同時開催）

(2) 文化活動助成 (助成費予算額 20,300)

《目的》 文化芸術による地域の活性化を目指す次の3部門の活動に助成する。

■ 伝統文化振興部門

地域に継承されてきた伝統的な文化や郷土の歴史の掘り起こし・保存・伝承、普及・後継者の育成などにかかわる活動や調査研究を支援することによって、伝統文化の振興と地域の活性化に貢献

■ 文化芸術活動部門

文化芸術の発展向上を図る活動や、地域社会に文化芸術を展開・普及する活動、担い手となる人材の育成などにかかわる活動を支援することによって、岡山県の文化水準を高めるとともに地域の活性化に貢献

■ 地域文化創造部門

地域に存在する資源や社会活動を活かしながら、新たな文化的価値を地域に付加し創造しようとする活動（文化芸術によるまちづくり、青少年育成、環境、福祉、国際交流などの活動を含む）や調査研究を支援することによって、地域の活性化に貢献

《対象》 岡山県内で、文化活動を行っている個人・団体。ただし、学術研究、単なる趣味や同好の活動・調査は除く。原則として社会人

大学等が地域文化振興を目的として地域と連携して行う研究、実践活動は積極的に支援する。

《助成額》 原則1件当たりの上限は30万円

《期間》 平成29年度中に実施する事業

なお、平成21年度に設けた「3ヵ年継続特別枠」は、毎年3~4団体を指定する。

《審査》 審査委員会で審査し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て決定

《予定》 12~1月 申請受付 3月 審査委員会 4月 事業開始

9月贈呈式・発表会・交流会（教育助成贈呈式と同時開催）

(3) 特定の特色ある活動に対する助成

① 特定教育助成 (助成費予算額 17,385)

今日的教育課題について実践的かつ先進的な活動を行っている教育団体等に対して助成する。

ア) 学校法人おかやま希望学園への助成 (2,500)

既存の学校になじみにくい子どもたちのために設立された学園の運営と研究活動を支援

イ) がんばる若者支援 (1,385)

従来の学校教育現場以外での社会教育、生涯教育等の分野で、地域のNPO法人、大学生等が行政、保護者等と連携し、効果的なキャリア教育等を実施し、子どもたちの地域への関心を深めるワークショップ等の開催を支援する。(H28年度より)

ウ) 岡山県私学協会への助成 (1,000)

私学振興事業として行う教員の研究及び研修などの経費を助成。

新規 エ) 岡山県英語力向上事業支援 (8,000)

岡山県、岡山大学、ベネッセコーポレーションの産官学連携事業に助成する。

① 県内の複数地域に指定校を設置し、県内中学生を対象に英語力調査事業を実施

② 調査結果を分析し、今後の施策検討に活用し、県内中高生の英語力の向上を図る

オ) 学力向上プロジェクト (4,500)

- 事業内容例 ① 学校 教師力の向上策、補充学習の取組、ICT活用等
② 地域 ボランティアによる児童生徒の放課後・土曜日学習等
③ 家庭 家庭学習の習慣化、基本的な生活習慣定着の指導等

《助成額》 上限 200 万円 (期間は 3 年)

《組 織》 助成対象団体は「学力・人間力育成推進会議」の構成員として、役員(専門委員及び研究委員の指導・助言を受けるほか、実践発表等により成果を全県で共有するよう努める。

《対 象》 (継続分。H27~H29)

- ① 赤磐市学力向上推進委員会 (3 年目: 赤磐市教育委員会内)
② 早島町学力向上推進委員会 (3 年目: 早島町教育委員会内)
③ 笠岡市学力向上推進委員会 (2 年目: 笠岡市教育委員会内)

○ (旧)学力・人間力育成推進事業助成

「教えて考えさせる授業」を指導法として IF プランを実施している小中学校区委員会に対して助成する。大高小学校地区委員会 (倉敷市)

旧推進校を中心とした「教えて考えさせる授業」セミナーの実施

② 特定文化助成

- ア) 岡山県文化連盟の出前講座事業に助成 (1,200)
イ) 岡山県天神山文化プラザで開催される先進的芸術家育成作品展等を助成 (2 回 1,000)
ウ) 岡山県立美術館が中心となって行う優れた作品の展覧会等への助成 (複数回 2,000)
エ) 出石・国吉プロジェクト助成 (4,000)
・ 従来同様、国吉を評価し出石周辺を活性化する団体の文化活動支援を行う。
(国吉を活用した美術鑑賞教育や岡山大学国吉康雄寄付講座の学外活動を含む)

オ) 「岡山の文化財」発刊プロジェクト(前年度予算 1,000)—— (今年度は実施しない)

当初平成 26 年度~28 年度 3 ヶ年の発刊助成で、2 分冊は発刊されているが、3 分冊目は、編集に時間が要するためいったん今年度の事業からははずす。

③ 瀬戸内文化育成助成 (助成費予算額 4,000)

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成する。

- ア) 瀬戸内国際芸術祭に関係する文化・芸術事業への助成 (次回開催に向けて継続している会場事業、広域連携事業等)
イ) その他沿岸市町村から推薦のある瀬戸内文化育成プロジェクト等に対する助成

(4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成 ~その他助成~ (助成費予算額 5,430)

年度途中で申し出のある緊急を要する教育文化活動に対して助成する。

原則として公募助成の限度額 30 万円を上限とする。

(例)・ 表彰による受賞者(特に奨励賞)の公演、講演会等の開催、出版等 (叢書を含む。)

- ・ 公募助成に応募できなかったことに理由があり、かつ、その活動の内容が公募助成の対象となった団体等と比較して明らかに優れているもの

3 研修会等開催事業 予算総額 3,501 (前年度当初 4,010)

① 小学校特定英語研修

小学校英語教科化にむけて、市町村教育委員会傘下の教育研究団体や大学等が実施する小学生および小学校教員を対象とした、イングリッシュキャンプ、英会話語学レッスン、イメージ教育等の研修に対して、必要な経費の最大 1/2 を助成する。

〈対象〉 総社市、笠岡市、備前市、矢掛町、中国学園 他

② フォーラム開催

1月に地域で活動する著名な有識者等を招き、今後の財団活動の指針となる講演会等を開催し、更なる財団の発信力強化につなげる。地域の参加者の交流を同時に図る。

4 調査研究事業 予算総額 500 (前年度当初 500)

岡山県の子どもたちの教育課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究等を中長期の視点で行う。

5 「海の劇場」事業 予算総額 2,310 (前年度当初 2,310)

小規模校(岡山市立小串小学校、朝日小学校の2校)にアーティスト(ダンス、演劇)を派遣して子どもたちと創作活動を行う「学校でひらく舞台芸術教室」を実施する。NPO 法人アートファームに委託するものとする。

6 広報事業 予算総額 9,030 (前年度当初 8,730)

ほぼ昨年度同様の予算ながら、従来より継続している財団公式ホームページや SNS を活用した日常的な発信力強化を図り、財団事業の積極的な広報および存在意義を周知する。

7 30周年記念事業 予算総額 7,500 (H27年度より3ヵ年事業の3年目)

1986年に設立された当財団の30周年記念事業として、2016年前後の3年間にわたり岡山県の教育文化の振興に寄与する事業として、岡山大学教育学部に設置される「国吉康雄を中心とする美術鑑賞教育研究講座」にかかる費用の一部を助成金として負担する。

なお、この研究室の設置、運営に対する750万円の助成とあわせ、寄付講座内での地域連携事業として年額300万円も特定文化助成中「出石・国吉プロジェクト助成」が充てられる。(総額で年間1,050万円) 来期以降のあり方もあわせて検討する。

公益目的事業Ⅱ 国際的人材育成事業 (定款第4条1項第2号)

予算総額 3,117 (前年度当初 11,901 : 共通経費を含む。)

国際的に活躍するグローバルな人材を育成するための事業を推進する。

昨年度まで10年間に渡り、実施していた「海外教育調査研究・研修事業」(オーストラリア・ブレ留学体験)は、当初の使命は完了したということで今期は実施しない。

代わりに、岡山県英語力向上推進事業に助成し、「国際的に活躍する人材の育成」を行うところであるが、今期は公益目的事業Ⅰの、特定教育助成に位置づける。

1 日中青年交流研修事業 予算総額 500 (前年度当初 1,001)

今年度より中国の高校生が岡山県を訪問交流し、学校授業や行事、ホームステイ等を通じて相互理解と友好を深める事業に対して助成する。(岡山県日中教育交流協議会及び岡山県日中懇話会)

2 研修会等開催事業 予算総額 1,001 (前年度当初 500)

海外に視野を広げるよう促し国際的な人材に育成するため、自治体や教育委員会、各種団体との連携協力のもと、外国語体験研修等の実施を検討する。

3 広報事業 (予算は上記中で実施)

国際的人材育成事業の成果を周知するための広報を行う。